

**50 小金井宿 ~ 石橋宿**

栃木県下野市

下石橋北 ~ 石橋宿

(歩行距離 2229m 27分)

歩く地図でたどる日光街道

http://nikko-kaido.jp/  
JZE00512@nifty.ne.jp

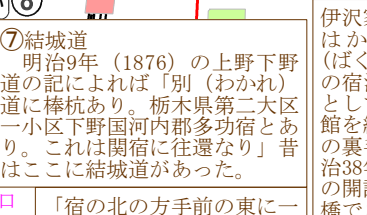
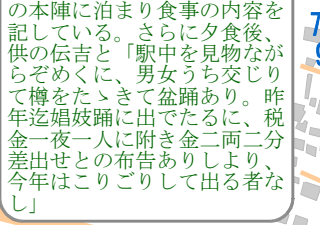
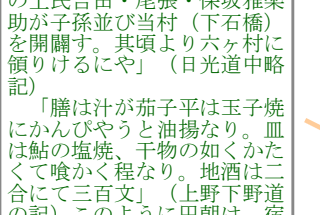
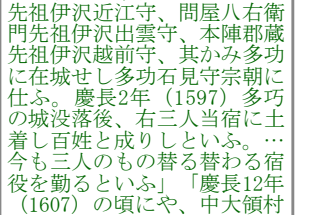
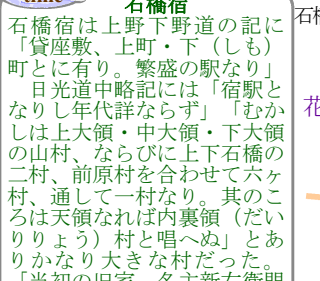
⑪六角石塔  
下野市役所石橋庁舎のある交差点を北に50m入った六又路路にある。宝永7年(1710)建立。ほかに笠石型の六地藏、馬頭観世音の2体がある。

⑨壬生道  
日光・奥州・甲州道中宿村大概概によれば「此宿より下総国結城町・野州壬生宿江いつる道筋有之」壬生まで「凡1里半」昔の壬生道跡。この道を1.3km程行くと中大領で、「大光寺」と云大利の跡也とて、藪の外に堀など残れり(日光駅程見聞雑記)とある大光寺跡がある。

⑦結城道  
明治9年(1876)の上野下野道の記によれば「別(わかれ)道に樺杭あり。栃木県第二大区一小区下野国河内郡多功宿とあり。これは関宿に往還なり」昔はここに結城道があった。

⑧脇本陣跡  
脇本陣をつとめた伊沢家は八右衛門を名乗った。宿時代の建造物は残っていないが、かつてと変わらない位置にある。また、本陣をつとめた伊沢家は現存していない。いずれの伊沢家も祖先は多功城主多功氏の家臣であったが、慶長2年(1597)に多功城が落城すると土地に土着したといわれる。

石橋宿  
石橋宿は上野下野道の記に「貸座敷、上町・下(しも)町とに有り。繁盛の駅なり」日光道中略記には「宿駅となりし年代詳ならず」「むかしは上大領・中大領・下大領の山村、ならびに上下石橋の二村、前原村を合わせて六ヶ村、通して一村なり。其のころは天領なれば内裏領(だいらりょう)村と唱へぬ」とありかなり大きな村だった。「当初の旧家、名主新右衛門先祖伊沢近江守、問屋八右衛門先祖伊沢出雲守、本陣郡蔵先祖伊沢越前守、其かみ多功に在城せし多功石見守宗朝に仕ふ。慶長2年(1597)多功の城没落後、右三人当宿に土着し百姓と成りしといふ。…今も三人のものを替る替わる宿役を勤るといふ。」「慶長12年(1607)の頃にや、中大領村の土民吉田・尾張・保坂雅楽助が子孫並び当村(下石橋)を開闢す。其頃より六ヶ村に領りけるにや」(日光道中略記)  
「膳は汁が茄子平は玉子焼にかんぴやうと油揚げなり。皿は鮎の塩焼、干物の如くかたくて喰かく程なり。地酒は二合にて三百文」(上野下野道の記)このように円朝は、宿の本陣に泊まり食事の内容を記している。さらに夕食後、供の伝吉と「駅中を見物ながらぞめくに、男女うち交じりて樽をたゞきて盆踊あり。昨年迄娼妓踊に出でたるに、税金一夜一人に付き金二両二分差出せとの布告ありしより、今年はこりごりして出る者なし」



⑫開雲寺  
日光道中略記に「慶安年中(1648~1652)日光御参詣のとき、境内新に御殿後造立ありて御旅籠となし玉ひしが、寛文年中(1665)再び御修営ありて御休所となし玉ひしが、…其後とりはらひになりそのときの御門は時の住僧に下し玉ふ。当寺の表門、是なりとて、左右の塀に矢狭間などあり」として、將軍家治がほめたという大樞は「近頃枯たりと云」徳川將軍の日光社参のとき、休息所となった寺。3代將軍家光の社参の際に境内に御殿所が立てられ、後に下賜された。そのため寺門に葵を用い、土塀が城郭様式で御殿堀には矢狭間や鉄砲狭間がある。寺の本堂・庫裡・山門などは安政年間(1854~60)の再建である。

⑩石橋宿名主・控本陣跡 (伊沢茶店)  
名主をつとめた伊沢家は新右衛門を名乗った。控本陣とは、本陣・脇本陣で足りない場合その屋敷が使用される施設。宿時代の建物は残っていない。

⑧脇本陣跡  
脇本陣をつとめた伊沢家は八右衛門を名乗った。宿時代の建造物は残っていないが、かつてと変わらない位置にある。また、本陣をつとめた伊沢家は現存していない。いずれの伊沢家も祖先は多功城主多功氏の家臣であったが、慶長2年(1597)に多功城が落城すると土地に土着したといわれる。

⑥愛宕神社  
創建は天平宝字3年(759)という古社で、境内には天照大神・素戔鳴尊・熊野大神の4社が祀られています。もとは下石橋愛宕塚古墳の墳丘上にあつたが、東北本線の複線化により参拝に支障が出たため、大正2年(1913)に稲荷神社境内に合祀・遷座した。昭和47年(1972)の東北新幹線建設のための発掘調査で古墳から出土した石室の切石の一部が社殿前に移されている。現在の鳥居付近が石橋宿の入口にあたり、かつては土手が築かれていた。

⑤多功天満宮  
日光駅程見聞雑記に「威徳天神大門前に下馬札あり。此処は管公の骨を瘞(うず)めし所といふ」

④西念寺  
上三川七福神の一つ。寿老人が祀られている。寿老人は、人々に長寿を授けるといわれる福の神。

③多功城  
宇都宮頼綱の四男であり多功氏の祖となった多功宗朝が建てた城。宝治2年(1248)に廃城となるまで、東方の上三川城とともに宇都宮城南方の防御の役割を果たした。

①見性寺  
多功宗朝が創建した多功家の菩提寺。日光道中略記に「境内に宗朝の墓あり」とあり、多功城主累代の墓がある。また、上三川七福神の毘沙門天が祀られている。

